



動物レスキュー通信

2013年12月 第6号 (平成25年11月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

ネコと共に暮らす上で 必要な事と心得



ネコとはどんな動物なのか

私たちがコバーン・オン・ア・マルとして共に生活している猫は、動物学での正式な和名は「イエネコ」と言い、エジプトで飼われはじめたと言われています。ネコ科はライオン、トラ、ジャガーなどの大型とヒョウマヤマネコなどの小型に分けられます。このネコ科の動物は、ほぼ完全な肉食で、ライオンを例外として、食物となる獲物を確保するために、全て単独でなわばりを持ち生活しています。そのため、犬のようにリーダーや仲間を強く求めるような事はありません。しかしネコの性格は個体差が大きく、個性が強い動物です。飼い主さんや同居している動物とのスキンシップを好むネコもいます。そして犬と比べて感情表現が伝わりにくく、喜怒哀楽がないように思われてしまう事が多々ありますが、ネコの動きや表情を注意深く観察すれば、感情が読めるようになってくるはずですが、昔から「ネコは家につくと寝ていていますが、この子は私についてきているのよ」とおっしゃる飼い主さんもいらっしゃると思います。もちろんネコも飼い主さんにとっても大事です。大好きです。この「家につく」という意味は言い換えれば「環境の安定を好む」という事です。ですから引越しいや初めてのお客だけでなく、急な模様替えやトイレの移動、ネコ砂の変更、聞きなれない音など、飼い主さんにとっては大した変化ではなくても、環境の安定を好むネコ

ネコと共に暮らすには

にとっては、大きな変化に感じてしまうのです。ですがこれは、なかなかしつこくおるようなものではありません。子猫の頃から人の出入りが多い環境に育ったネコは、人見知りせず訪問客にも近づいて行くでしょうが、そうでないネコの場合は、隠れる場所を作つてあげるなどして、逃げ道を作つてあげないと、ネコにストレスが溜まつてしまいます。このように、ネコは犬とは異なり、飼い主さんがネコをしつこくと言つたのではなく、飼い主さんがネコの習性や飼いネコの性格などを理解した上で育て方を考えたり、環境を整えてあげる事が不可欠となります。

詩月財団ではネコと共に暮らす方々には、完全室内飼育を推奨しています。その理由としては「家庭動物等の使用及び保管に関する基準」にて「この所有者などは、疾病の感染防止、不慮の事故防止などネコの健康と安全の保持の観点から、屋内飼育に努める」と定められている事がありますが、それより何より大切な事は、ネコにとつて屋外に出ると言う事は、交通事故、感染症などのリスクが非常に高い事。そして糞尿などで周囲に迷惑をかける事があるからです。「狭い室内に閉じ込めておくのはかわいそう」と考える方もいらっしゃると思いますが、ネコは広さより上下運動を好みますので、広大な面積がなくても、しっかりとした高低差があれば満足できます。ここで、少しでもネコと一緒に生活して見たいな。と思つた方に、必要な物や注意点、心得などをあげていきます。①自身も同居している家族にネコアレルギーがない事(ネコアレルギーの人がいると、後々ネコと生活して行く事ができずに手放さなくてはならなくなってしまう可能性があります)②採光、換気が良い事(太陽光を浴びる事は骨を丈夫にすると同時に、ウイルスや細菌に対する殺菌効果が期待できます。又、ネコは自分の体の汚れを自分で舐めとるため、排泄物がとても臭いので、換気は必ず必要になります)③十分運動させてあげられる段差をつける(キャットタワーや家具で段差をつけるなどして、ネコが十分動き回れるようにしてあげる)④トイレ、水、寝床、爪とぎ、爪切りなどを用意する(水は常に飲めるようにし、トイレや寝床は人通りの少ない場所を確保してあげないとネコが落ち着く事ができません)⑤食事、食器、キャリーバッグ、おもちゃを用意する(動物病院に連れて行く際には必ずキャリーバッグが必要です。そして一頭飼いの際には飼い主さんが唯一の遊び相手ですので、ネコの狩猟本能を満足させてあげるため、ネコじやらしのようなおもちゃで遊ぶ必要がある必要があります)そして、第5号でも書きましたが、ネコだけではなく、動物と一緒に暮らす上では、その動物の一生にかかる費用を計算し、それを負担できる自信があるのか。終生飼育をする自信があるのか。万が一、何かの事情でネコを手放さなくてはならなくなった時、譲渡先などを探す自信はあるのか。という事を考えた上でネコとの生活を始めて下さい。

詩月財団では、今後も動物と接する上で必要な事や接し方、心得などを発信し、飼い主さんに正しい知識を見つけてもらいたい不幸な動物を少しでも減らせるよう努力してまいります。(詩月)